

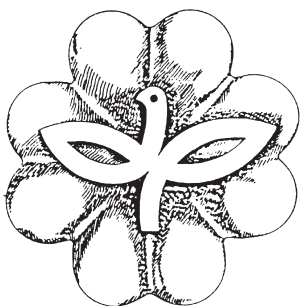
発行：野々市市民生委員児童委員協議会

# ののいち 民児協だより

第7号  
平成30年6月



第15回 野々市市障害者スポーツ交流大会 (10月22日)



民生委員・児童委員は民生委員法に基づき、各市町村に置かれる民間奉仕者です。委員は都道府県知事の推薦に基づく厚生労働大臣が委嘱するもので、任期は3年です。



民生委員制度創設100周年記念石川大会 11月8日

また、石川県民生委員児童委員協議会連合会（県民児連）記念大会も、十一月に県立音楽堂で一、二〇〇余名の参加により開催されました。その際、これからの新たな活動の歩みに向けた「スローガン」を決定し、いくつかの関連事業も実施されました。多くの先達の「熱い思い」と「努力」に触れる機会を得て、あらためて一〇〇年という歴史の重みを感じるとともに、この制度と活動を次代へつないでいくことの大切さも再認識することができました。

スローガンには、全民児連では「支え合う 住みよい社会 地域から」が、県民児連では「助け合う 心でつながろう 地域の未来」がそれぞれ決定されました。いずれも、誰もが笑顔で安全で安心して暮らせる地域社会を目指すものとなっています。また、併せて「一〇〇周年活動強化方策」も全

昨年は、民生委員制度一〇〇周年という大きな節目の年でありました。全国民生委員児童委員連合会（全民児連）の一〇〇周年記念大会が、七月に天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、東京都のビッグサイトで全国一万人の委員の参加のもと盛大に開催されました。

## 民生委員制度一〇〇周年によせて

野々市市民生委員児童委員協議会

会長 前川 一夫

民児連で策定されました。特に重点項目の三つについてご紹介いたします。

- ・地域のつながり、地域の力を高めるために
- ・さまざまな課題を抱えた人々を支えるために
- ・民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために

これらは、希薄化している人と人のつながりや、ますます多様化・複雑化している地域が抱える課題に对应していくことの重要性を改めて示したものです。

野々市市民生委員児童委員協議会は、未来に向け、地域で活動を展開していくため、市民の皆様、関係機関・団体のご理解とご協力がおなほ一層重要になると考えております。また、併せて次代を担う民生委員・児童委員の後継者が各地域で生まれ引き継がれることを願うものです。



商工会青年部住宅修繕（障子張替）事業に協力

### 民生委員児童委員信条

一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。

一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。

一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。

一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。

一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

※本誌は、「障がい者」と表記していますが、法律名や固有名詞は、そのまま記載しています。

# 福祉委員会活動

民生委員・児童委員は、四つの福祉委員会に分かれ、学び、活動をしています。

## 児童福祉委員会



左 9月14日 青少年問題について  
講師：石川県警 岡崎純孝氏

右 11月22日 地域の児童・少年問題の  
具体的事例と対応事例  
講師：市教育センター

## 生活福祉委員会



左 6月22日 生活保護制度について  
講師：市福祉総務課 池多主査

右 11月22日 生活困窮者自立支援事業と  
生活福祉資金貸付  
講師：市社会福祉協議会 藤田主事

## 障害者福祉委員会



左 4月27日 障害者と障害者差別解消法の  
理解のために  
講師：東 申明 相談役

右 10月22日 第15回 野々市市障害者スポーツ交流大会

## 高齢者福祉委員会



左 5月22日 野々市市の高齢者施策の現状  
講師：市地域包括支援センター 古谷次長

右 7月20日 高齢者登録制度：関連サービス  
講師：市地域包括支援センター 古谷次長

## 各地区民児協研修会

本町地区 10月30日 民生委員活動についてグループワーク

富奥地区 11月27日 日頃の活動と見守りグループワーク

郷地区・押野地区 11月18日 「クレマーの対応について」講演



本町地区 民児協



富奥地区 民児協



郷地区・押野地区 民児協

民生委員活動は、時代とともに変遷してきました。中でも戦争、自然災害、経済恐慌などは、大きな社会不安を引き起こし、国民生活に大きな影響を与えて来ました。民生委員は、これらの人々に向き合い、寄り添って来ました。このことが多くの人に受け入れられたからこそ、100周年を迎えることができたものと思います。これまでの活動の歴史を5期に分けて振り返ってみました。

万国博覧会開催（大阪） 1970	第1次オイルショック 1973	国際婦人年 1975	国際障害者年 1981	国際児童年 1979	バブル崩壊 1990	阪神・淡路大震災 1995	介護保険制度施行 2000	児童虐待防止法公布 2000	新潟県中越地震 2004	児童福祉法改正 2004	障害者自立支援法公布 2005	新潟県中越沖地震 2007	リーマンショック世界同時不況 2008	東日本大震災 2011	障害者虐待防止法施行 2012	障害者総合支援法施行 2013	子どもの貧困対策推進法成立 2013	生活困窮者自立支援法・生活保護法一部改正 2013	障害者権利条約批准（国連） 2014	生活困窮者自立支援法施行 2015	子ども・子育て支援新制度施行 2015	障害者差別解消法施行 2016	熊本地震 2016	社会福祉法改正 2017
---------------------	--------------------	---------------	----------------	---------------	---------------	------------------	------------------	-------------------	-----------------	-----------------	--------------------	------------------	------------------------	----------------	--------------------	--------------------	-----------------------	------------------------------	-----------------------	----------------------	------------------------	--------------------	--------------	-----------------



## 平成

1968 昭43 居宅ねたきり老人の実態調査実施	1977 昭52 制定60周年（60周年活動強化方策策定）	1987 昭62 制定70周年（70周年活動強化方策策定）	1989 平元 石川県民生委員児童委員協議会連合会結成	1990 平2 石川県民生委員児童委員協議会発足	1992 平4 石川県民生委員制度70周年記念大会開催	1994 平6 主任児童委員創設	1997 平9 制定80周年（80周年活動強化方策策定）	2000 平12 民生委員法改正	2003 平15 野々市町民生委員児童委員協議会が厚生労働大臣表彰受賞（野々市）	2006 平18 災害時一人も見逃さない運動全国展開	2007 平19 制定90周年（90周年活動強化方策策定）	2011 平23 市制により4地区単位民児協発足（野々市）	2017 平29 制定100周年（100周年活動強化方策策定）	主任児童委員制度創設70周年
-----------------------------	----------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---------------------	---------------------------------	---------------------	---	-------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	----------------



### 組織的活動の強化・推進期 1973-1990

「福祉元年」を政府が宣言した1973年(昭和48年)は、オイルショックが発生し、インフレ不況をまねき高度経済成長の終わりを告げた。厳しい財政下、福祉予算の確保も厳しく、在宅福祉に重点が置かれ、地域のネットワークづくり、福祉のまちづくりが進められた。これに伴い、民生委員活動も個人の活動から協働、連携など組織的活動に移行した。

### 多様化する民生委員活動 1990-2017

生活スタイル、価値観の多様化、人間関係の希薄化、超高齢化、核家族化、生活困窮者増加など地域社会の問題点が多様化した。これらにより、行政主導福祉の限界となり、福祉3プラン（ゴールド・エンジェル・障害者プラン）が示された。これらは、福祉が措置制度から民営化され、一部の人から全員が受ける福祉に大きく移行し、支え合う地域社会形成が進められた。とくに介護保険制度が導入された2000年から、高齢者福祉の民営化が急速に進んだ。今後は、地域福祉を考える上で、対象者別の縦割りから「我が事・丸ごと」のスローガンが示され、地域共生社会の実現に向けて新たな100年を歩み出しています。

# 地域とともに 民生委員制度100年の歴史

1894 日清戦争	1896 明治三陸大津波	1904 日露戦争	1914 第1次世界大戦勃発	1918 米騒動(富山)	1918 第1次世界大戦終結	1920 大戦後恐慌(株式暴落)	1923 関東大震災	1929 世界恐慌始まる	1933 三陸地震大津波	1937 盧溝橋事件日中戦争勃発	1939 第2次世界大戦勃発	1945 第2次世界大戦終結	1945 身体障害者福祉法公布	1946 日本国憲法公布	1946 生活保護法公布	1947 児童福祉法公布	1950 精神衛生法・新生活保護法公布	1951 社会福祉事業法公布	1960 精神薄弱(知的障害)者福祉法公布	1963 老人福祉法制定	1964 母子福祉法施行	1964 東京オリンピック開催
--------------	-----------------	--------------	-------------------	-----------------	-------------------	---------------------	---------------	-----------------	-----------------	---------------------	-------------------	-------------------	--------------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------------	-------------------	--------------------------	-----------------	-----------------	--------------------

## 明治 大正 昭和

1917 大6 岡山済世顧問設置	1918 大7 大阪方面委員設置	1920 大9 東京方面委員設置	1928 昭3 富奥村方面委員設置(野々市)	1931 昭6 全国方面委員連盟発足	1932 昭7 野々市町方面委員設置(野々市)	1936 昭11 方面委員令公布	1940 昭15 野々市町隣保館開設(野々市町方面委員部)	1942 昭17 石川県方面委員制度20周年記念式挙行	1946 昭21 民生委員令公布	1947 昭22 民生委員の児童委員兼任	1948 昭23 民生委員法公布	1951 昭26 民生委員信条制定	1951 昭26 石川県民生委員制度30周年記念大会開催	1960 昭35 心配ごと相談事業に国庫補助	1961 昭36 国民皆年金・皆保険制度発足	1962 昭37 石川郡野々市町心配ごと相談所野々市町役場に開設(野々市)	1967 昭42 制定50周年(50周年活動強化要綱策定)
------------------------	------------------------	------------------------	------------------------------	--------------------------	-------------------------------	------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------	------------------------	----------------------------	------------------------	-------------------------	------------------------------------	------------------------------	------------------------------	---	-------------------------------------



大正5年5月、大正天皇より御下問を受ける笠井知事



### 制度創設期 1916 - 1928

明治維新以来、富国強兵、産業優先などの政策により、生活困窮者、劣悪な就労環境生活者が増加した。このような中、大正天皇から御下問を受けた笠井信一岡山県知事は、極貧の実態調査を行い、顧問の人材発掘、防貧活動、住民の自立支援のため済世顧問制度を創設した。

### 方面委員制度の 統一・発展期 1928 - 1945

1932年方面委員制度が全国に普及し、全国日本方面委員連盟が発足した。1936年方面委員令公布により全国統一委員制度となった。戦時下での活動は、父親が出征した家族や戦死者遺族、孤児の健全育成など人々に寄り添い支援を行った。

### 民生委員児童委員制度への転換期 1945 - 1973

方面委員から民生委員へ、活動も貧困者対応から児童、母子、高齢者福祉など家庭上の諸問題等福祉増進に転換された。また、1964年東京オリンピックが開催され、高度経済成長期を迎え、産業構造の変化、人の都市集中、家族形態の変化などにより福祉ニーズの拡大が起こる。民生委員制度創設50周年時に「在宅ねたきり老人実態調査」を行うとともに、10年ごとに「活動強化方策」を定め、時代に即した方向性が示している。

# ひろば

地域とともに歩む活動を  
目指して！

本町地区 林 正一



民生委員・児童委員  
活動に携わり、はや八  
年目となりました。

「地域での福祉の担い手」の一人として、未熟な私ですが、先輩方の教えを忘れず、清新の気風を失わずに、日々、新たな気持ちで、民生委員・児童委員活動に、より一層精励してまいります。

民生委員・児童委員には、高齢者や児童等援助を求める方々の「実態把握」、利用者の視点から課題を捉える「相談支援」、一人ひとりの想いに寄り添う「継続的な見守りや声かけ」、また、地域の声を行政機関等に伝えるつなぎ役としての「地域に根ざした取り組み」などが望まれていると思います。

地域の皆様に信頼されることが重要であると肝に銘じ、地域や学校と

の連携を深め、更に研鑽を積み、積極的に活動してまいります。  
今後とも、よろしくお願い申し上げます。



地域福祉推進員との合同研修会（2月22日）

## 地域の見守り

郷地区 泉 栄太郎



定年後は、自分の趣味である海釣りやゴルフを楽  
ウインド・ゴルフを楽

しみ、その後、地域に何か貢献したいと思っていたが、気が付けば平成二十年十二月に民生委員・児童委員の委嘱を受けていました。

委嘱を受けた後、今後どのようにして地域の高齢者に接して、見守り活動をしていくか不安を感じながらのスタートでした。

当初から、自分は校下の高齢者や児童に出会った時には、「おはよう」「おかえり」と、声かけをするように心がけています。返事のない児童には、たぶん「不審者」と思われていたのではないかな？下校する一・二年生に「おかえり」と声をかけると、大きな声で「ただいま」の返事が返ってくる気持ちが良いもんだ。また月一回、訪問するひとり暮らし高齢者宅では、玄関で雑談をして帰る時に「あんたいつも元気やね」とか「ありがとう」の一声が返ってきます。これもまた、嬉しい。民生委員一年目のある夕方に訪問すると「もう少し遅くにきて欲しい」と言われたこともあり、なかなかコミュニケーションをとるのは至難のわざです。

急速に進む高齢社会に、私たち民生委員は地域で困っている人がいなか、情報収集に努め、何かあった時に必要な関係機関につなぐための見守り活動を続けていきたいと思っています。

## 民生委員・児童委員になって

富奥地区 高桑 絹子



私は、平成二十五年十二月より民生委員・児童委員をさせていた

だいております。思えば新庄に転居し、我が子の保育園入園時に民生委員のお宅を訪問したことを思い出しました。それが民生委員との初めての出逢いでした。

三人の子ども達がいましたので、育成委員やPTA役員など色々経験してきました。あれから三十年!! 勿論、私も「いい年」になり、子ども達の同級生のご両親も「いい年」



障害者スポーツ交流大会（10月22日）

になっておられます。

私はこの役をいただいて、少しは「新庄」に根付いてくれたかなと思えます。民生委員となり五年間、私が常に心掛けていた事があります。

それは「あいさつ」です。あいさつの頭文字を取って「明るく」「いつでも」「さわやかに」「続いて」を挑戦しております。「続いて」は相手の方の状況にあわせて話をしております。不思議なもので、私がお心を開いてお声を掛けると、相手の方も心を開いて下さいます。

これからも対話のキャッチボールを楽しみながら、福祉推進員のお二



お年寄りと子どものフェスティバル2017 (9月24日)

人の力もお借りして、私らしく地域貢献して参ります。

### 全国主任児童委員研修会に参加して

主任児童委員 川畑 佳代子



二期目の昨年九月、全国主任児童委員研修会（東日本）に県内

十一名の方々と共に参加させていただきました。

研修会は、講義、シンポジウム、分散会、グループ討議で進められました。各民児協の地域事情等による様々な現状がある事を踏まえたうえで、再確認する事項や、認識を新たにしたり参考となる事柄、また雑然とした事柄が整理できた等々、有意義な研修会でした。

家族だけでの子育てではなく、点から線そして面での支援を通して家族と共に皆で子育てに臨まなければならない。子どもは何かを言ってくる訳ではない。「見守る眼・聴く耳・支える手」「日常の声掛け」が大事であり、その場に主任児童委員が居る地域づくりをしなければならぬ。

また、「教育の道は、家庭の教え



お年寄りと子どものフェスティバル2017 (9月24日)

で芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実がなる」この諺の如く家庭と学校は互いに同じ方向に進み、児を世間の悪風習に染めない為にこれからの私の主任児童委員活動の糧として、出会い・関わり・つなぐを求めて励まなければならぬいと実感した研修会でした。

### 元気な地域の皆様に感謝

押野地区 西村 友子



押野地区民児協会会長 さんから、「今回はベテランの方でお願いし

ます」とこの原稿依頼を受け、書くことになりました。一期三年が五期目に入り十四年になります。最初は



地域の見守り向上研修 (2月18日)

民生委員とは何ぞやから始まり、分からない、知らない事ばかりで大変苦労しました。ひとり暮らし高齢者の方も昨年初めて見守りすることとなり、その後、お二人も対象になられて今は新鮮な気持ちで接する事ができていると思います。

保育園の卒園式、小中学校の入学式・卒業式、運動会等に招待され厳粛な場に立ち合わせていただき、感激のシーンをたくさん目にしてきました。

また市民児協には、四つの福祉委員会があり、今期は二度目の児童福祉委員会です。今年度は二度目の児童福祉委員会です。今年度は二度目の児童福祉委員会です。今年度は二度目の児童福祉委員会です。

# 活動あれこれ

民児協独自の活動や、行政及び関係機関との協力活動も行っております。



※赤い羽根共同募金街頭募金 10月1日



※野々市市社会福祉功労表彰式 7月8日



※お年寄りと子どものフェスティバル2017 9月24日



「民生委員児童委員の日」PR 5月12日



平成29年度 総会



※ひとり暮らし高齢者会食会 10月23日



※ひとり暮らし高齢者等給食サービス 2月15日



※歳末たすけあい施設慰問出発式 12月22日



※暑中見舞いハガキ作り 7月28日



地域福祉推進員との合同研修会  
消費生活講座「落語」 2月22日



※ミニ門松づくり協力 12月25日



※地域の見守り向上研修会 2月18日

※印は社会福祉協議会主催

平成30年6月1日 第7号(通巻30号)

編集・発行

野々市市民生委員児童委員協議会

〒921-8815

石川県野々市市本町5丁目18番5号

野々市市社会福祉協議会内

TEL 246-0112/FAX 246-0169

## 編集後記

今回の民児協だよりは、100年の歴史を振り返って見ました。時代に合わせ、またその時々々の社会に合わせ変化してきました。今は高齢化社会と言われていますが、みんなが健康で元気に年を重ね、それまでの経験を生かしながら社会に参加できる、その事によって生きがいを持って、また元気になる、そんな社会になるといいなと思っています。いや、まさに今はそんな社会に向けて変わっていく途中なのかもしれません。私たち民生委員・児童委員もその時々々の状況に合わせて寄り添っていきたいと思っています。  
(山田京子)